

京都ボランティア協会2014年度事業計画

【第1号議案】

目次:

前文	…1ページ
<事業>	
1 【ボランティアコーディネート事業】	…4ページ
2 【援助・交流事業】	…4ページ
3 【広報事業】	…5ページ
4 【研修事業】	…5ページ
5 【研究事業】	…6ページ
6 【地域における社会福祉の推進事業】	
7 【評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】	…6ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】	…7ページ
<組織・運営>	
1 【組織・運営体制整備】	…7ページ

<事業>

【1. ボランティアコーディネート事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティアコーディネートの実施 在宅でのボランティア活動 グループ活動(協会内外) <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の啓発と推進 ・地域で困難を抱える人たちのボランティア活動を通じての交流、ひいては社会貢献 ・ボランティア登録者継続と増加を推進。特に在宅生活者の依頼に応える、寄り添うボランティアの増加をはかる。 ・相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析。 ・地域資源の把握(新たなボランティア活動先、受入先の開拓など) 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティア相談(ボランティア活動希望者およびボランティア依頼者からの相談) ②ボランティア学習会・研修会等の実施 ③ボランティア登録者の増員と交流 ④ボランティアコーディネート事業体制の整備 ⑤福祉ボランティアセンターとの連携 ⑥「きょうボラ」発行(年4～5回)※広報に再掲 ⑦大学・地域等への事業紹介等広報活動の実施

【2. 交流・援助事業】

事業項目	事業目的	事業内容
第7回きょうボラふれあい祭開催 会場「ひと・まち交流館 京都」 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアスタッフの人材発掘と育成。 ・ボランティア、関係団体、企業その他との交流、連携推進。 ・新たな活動の創造・発信。 ・ボランティア中心に、祭準備段階から企画・運営を参加団体と事務局が連携強化して行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「きょうボラふれあい祭」企画内容変更、運営、作業ボランティア募集！！</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティアスタッフ等の募集と学習会 ②実行委員会の設置(企画・運営) ③祭のホームページの管理 ④バザー物品、抽選物品の確保 ⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他) ⑥きょうボラふれあい祭の開催 ⑦祭記録・報告書の作成
サロン活動 「ねこのてさろん」の運営 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">通年・継続</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な興味や関心を持つ人たちとの交流を通じた「居場所」や仲間づくり。 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。 ・お互い様精神復活。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「ねこのてさろん」企画・運営ボランティア募集！！</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> ①単発活動企画の年間計画化 ②居場所機能の活性化:メンバー募集、仲間作り ③活動グループ化、自主運営化 ④新規グループ作り

ウェスグループへの支援 通年 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">通年・継続</div>	・活動歴25年近いグループであり、協会活動の支援者である。メンバーの高齢化により、活動の継続を目的に支援する。	①ウエス作業支援(ウエス販売含む) ②ミニバザーの実施支援 ③ウエスグループ&「よりあい」の場の充実 ④ウエスグループスタッフによる諸団体の啓発活動への参加・協力・支援(共同募金他)
---	---	--

【3. 広報事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「ボランティア」他広報事業 広告掲載	・「ボランティア」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行い広く市民への広報活動。 ・「ボランティア」「きょうボラ」他広告を掲載を募る情報提供と発信。	「ボランティア」発行(年4～5回) 「きょうボラ」発行(年4～5回) ホームページ管理

【4. 研修事業】

事業項目	事業目的	事業内容
華頂高等学校ボランティア講座への講師派遣 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">後期・継続</div>	・身近に行われているボランティア活動を学び、これらの活動を通し、気づき、感じ、共感する心を育む。 ・身近な地域での福祉活動や、高齢者・障害者・児童領域で抱えている課題を学ぶ。	高等学校1年生の総合学習の一環として「ボランティア講座」を担当する。ボランティア活動の基本的精神や意義、取組みや課題を学び、ボランティア活動に親しむ。認知症、障害者や家族・地域が抱える生活課題を理解し、支援のための活動を当事者や支援団体から学び、体験や交流を通し、ボランティア活動への関心や動機づけに繋げる。
高齢者・障がい者・こども分野講座実施	・各領域で求められるボランティア像を知り、実践や体験活動を取り入れ、人材発掘の機会を増やす。 ・各領域の課題を学び、ボランティアグループ、NPO団体との連携を図る。	・ボランティア活動にあたって知識・技術を身につける講座・研修。 ・各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。 ・ボランティア研鑽とボランティア同士の交流、特に福祉領域のボランティア活動者の敷居を低くし、互いに支えあう活動を増やす。 ・地域生活で求められているボランティアを知る機会。 ・在宅生活を豊かにすることをお手伝いできるボランティアを知り、実践や体験活動を取り入れた内容の講座づくり。
ワタキューグループ新入社員研修(4/30～5/10) 福祉施設ボランティア体験講座の企画・講師派遣	・ボランタリー精神を学び、座学や体験活動を通じての「人間力」育成。 ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	・ボランティア活動の意義を知り、実際に体験活動を通じて現場の職員や当事者と接する機会を通じて交流する。 ・社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会の提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)。 ・ボランティア活動や講座の情報提供や発信。

【5. 研究事業】

事業項目	事業目的	事業内容
新規事業に関する調査研究	・京都市マーケット回収事業は、昨年度から試行している。手軽に出来るボランティア、だれでも出来るエコ・リサイクル活動である。地域住民に社会貢献活動の啓発や就労支援の活動(障害者とともに)として研究課題(京都市の助成金交付対象) ・ボランティアビューローのサロン事業の活動(認知症やひきこもりなどの予防)	・京都市マーケット回収(ゴミ減量推進活動) 京都市では、「ごみ量をピーク時の半分以下まで減らす」という目標を掲げています。 古紙・古着等は、地域の集団回収(コミュニティ回収)を奨励している。減量・リサイクルの推進が特に重要な課題となっている。 ・地域の高齢者や障害者が手軽に来れるサロン(例:趣味・お話し相手等)で認知症やひきこもりなどの予防。
セルフヘルプグループ(SMGという)の京都版	2013年度より実施している事業である。交流やボランティア活動や「仕事」(就労を含む)の機会定休を通して自分を高めていく「居場所」作りを進めていくこと	ひきこもり、発達障がい当事者の「自己実現」につなげる支援を行う。何かしたい働きたい、「自立したい」という当事者の支援を行う。

【6. 地域福祉推進事業】

事業項目	事業目的	事業内容
災害支援活動	「京都からできること」人的支援・物的支援等後方支援をする	

【7. 評価・調査を通じ社会福祉を推進する事業】

25年度目標：協会理事を初め、会員及び事務局の総力を結集して前年度実績の20%アップを目指し、受診促進に繋げる

事業項目	事業目的	事業内容
地域密着型外部評価事業の充実 通年・継続	・質の高い評価を目指す。 ・公平・公正な調査を目指す。 ・地域における社会福祉の推進 介護や福祉サービスの質を高め、広く市民の介護・福祉サービスの選択に資することに携わる活動です。介護保険制度や事業に関心と、理解を深めること。事業の重要性に鑑み、引き続き取り組んでいく。 ・協会が評価事業を実施する目的は、単なる収益のみでなく、ボランティアの理念として、一般に「自発性(自由意志)」「公益性(公共性)」「創造性」「先駆性」「社会開発性」「継続性」な活動を展開するところに特色がある。利用者との関わりの中で得た経験と知識は他の組織にはない独自固有のものである。標準化された評価に加えてボランティアの独創的な視点からの助言や情報提供ができる。ボランティア活動の事業を支えるための重要な財源でもある。公益法人化に伴いさらに公益性のある事業として調査員にも協力を求めている。	・実質稼働できる評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実
介護サービス第三者評価事業の充実 通年・継続		・評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実
福祉サービス第三者評価事業の充実 通年・継続		・評価員の増員 ・評価者の研修体制の充実
評価・調査事業の管理・運営体制の整備	・効率的な事務運営	・評価・調査機関としての事務体制の整備

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	事業目的	事業内容
企業・労働組合との協働と交流	・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	①協会事業(祭等)への参加および企画等への参画。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会の提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)。 ③ボランティア活動や講座の情報提供や発信。
災害支援活動		

<組織・運営>

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業内容
組織基盤の強化	・会員増員・確保に取組み組織基盤を強化する。 (賛助会員の拡大)	①会員拡大委員会の設置 ②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘 ③各新聞社・関係団体の広報媒体の活用 ④理事、会員との交流の機会を設ける
運営体制の整備	・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制を整える。	①一般社団法人移行・事務体制の強化と、迅速な事務遂行 ②事務局体制の整備(人員の補強) ③理事、ボランティアスタッフ、事務局員との連携の強化 ④ボランティアスタッフ研修会の実施 ⑤評価・調査事業の管理・運営体制の整備 (再掲)
ボランティアビューロー・3階のボランティアセンターの一部の管理・運営	・有効な管理運営をし、友好的で開放的な場を目指す。	①利用状況の把握・管理 ②広報物の掲示・整理
財源の確保	・財源確保による安定的事業運営。	①助成金の確保 ②ボランティア団体賠償保険の加入勧誘 ③会員拡大